

第13回 川崎商工会議所 インターンシップ事業 実施報告

川崎商工会議所 地域産業部

■ 本事業の目的

市内8大学・市内企業・川崎商工会議所が連携・協力して、市内8大学の学生に企業での「就労体験」を提供することで・・・

- ▶ ①次世代の“地域経済の担い手”となる人材を育成する。
- ▶ ②就労意識を醸成し、職業選択の一助となる専門知識の習得などを通じて勉学意欲の向上を目指す。

■ 実施概要(1)

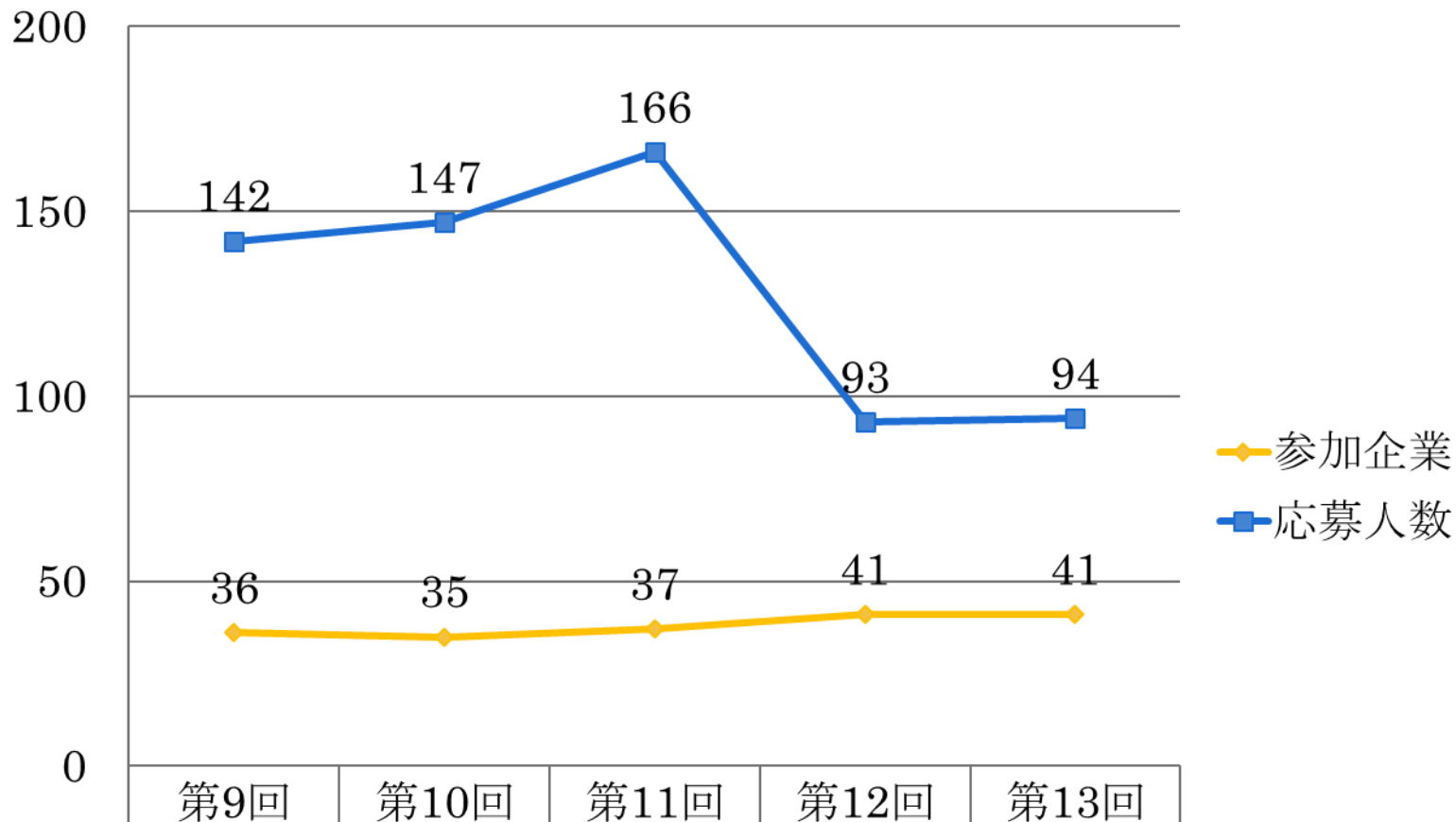
※50音順

受入企業(26社)

No.	企業名	受入人数	実習日数	No.	企業名	受入人数	実習日数
1	(株)アーバン企画開発	2名	7日間	14	(株)ゼロソフト	1名	5日間
2	SMBC日興証券(株) 川崎支店	11名	3日間	15	(株)ソフテム	1名	10日間
3	(株)LR小川会計	3名	5日間	16	(株)タウンニュース社	2名	7日間
4	(株)沖セキ	1名	3日間	17	(公財)東京交響楽団	1名	5日間
5	鹿島環境設備(株)	1名	5日間	18	(株)東邦プラン	7名	5日間
6	神奈川東部ヤクルト販売(株)	2名	4日間	19	(株)東横イン 川崎駅前市役所通	1名	10日間
7	かわさき市民放送(株)	2名	5日間	20	トレンドマスター(株)	1名	10日間
8	川崎商工会議所	2名	5日間	21	野村証券(株) 川崎支店	13名	5日間
9	川崎信用金庫	2名	5日間	22	東日本電信電話(株) 神奈川事業部	7名	5日間
10	川崎鶴見臨港バス(株)	1名	5日間	23	フジクス(株)	4名	4日間
11	(株)ケイエスピー	1名	10日間	24	(株)松屋総本店	2名	4日間
12	(株)サンフォニックス	2名	5日間	25	ミューザ川崎シンフォニーホール	6名	6日間
13	(株)住販サービス 川崎日航ホテル	5名	6日間	26	(株)山根工務店	1名	5日間
					合計	82名	—

■ 実施概要(2)

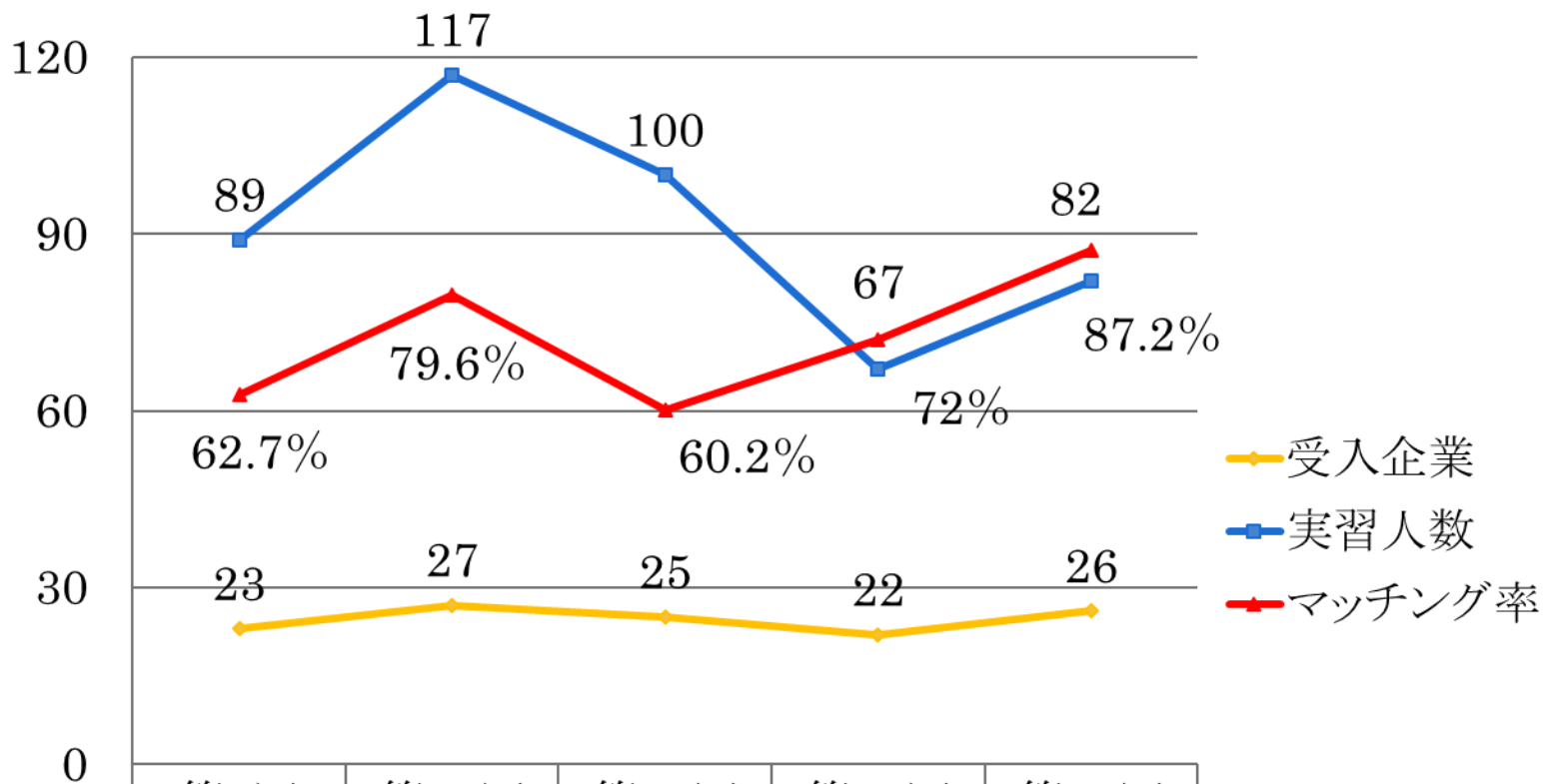
- 直近5回の推移(事業参加)



	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
参加企業	36	35	37	41	41
応募人数	142	147	166	93	94

■ 実施概要(3)

- 直近5回の推移(事業実施)



	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
受入企業	23	27	25	22	26
実習人数	89	117	100	67	82
マッチング率	62.7%	79.6%	60.2%	72%	87.2%

■ アンケート結果【企業編】

① インターンシップへの参加目的(複数回答可)

	項目	参加目的・動機
1	地域貢献活動	11
2	大学生へのPR活動・広報活動の一環	9
3	社内・職場の活性化	4
4	学生の就業意識(目的・意向等)、考え方の把握	7
5	市内大学からの雇用・リクルート活動の一環	6
6	市内大学、学生との関係構築、相互発展	8
7	社員の意識向上・教育・スキルアップ	6

- ▶ 地域貢献活動の一環として、市内大学生の就業意識の醸成を図るため
- ▶ 次世代を担う市内大学生に、経験とスキルアップの場を提供し、地域社会の未来を担う存在となるための手伝いをするため
- ▶ 市内大学と交流、市内大学生との交流を広げ、採用に繋げるため

■ アンケート結果【企業編】

② インターンシップを行うための取り組み

- ▶ 学生のニーズにあったカリキュラムを作成し、受入体制を整えた。
- ▶ 知識等の習得につながる体感教育を現場体験に取り入れた。
- ▶ 取引先へのプレゼン資料を作成、企画部門の社員が補完することで、プロの視点を実感してもらった。

③ 選考について

受入企業側での選考を希望

- ▶ 面接を行うことで、志願書にない本人の資質を理解するため。
- ▶ 学生の参加目的や考え方等を直接把握するため。

会議所側での選考を希望

- ▶ 自社選考では同じタイプの学生が多くなってしまい、さまざまなタイプの学生を受け入れることができないため。

■ アンケート結果【企業編】

④ 学生の実習に対する取り組み姿勢について

- ▶ 挨拶や言葉づかい、ビジネスマナーの基本が身についていた。
- ▶ 向上心が高く、積極的に質問し、課題に真摯に取り組んでいた。
- ▶ 業界や企業、業務に関する予習をして、実習に臨んでいた。

⑤ 受入学生に求める資質・能力

- ▶ 積極性、コミュニケーション能力等。
- ▶ 始業時間や休憩後の開始時間など、時間に対する意識。
- ▶ インターンシップ実習に対する目的意識と向上意識。

■ アンケート結果【学生編】

① インターンシップ参加理由

1 興味のある業界・職種を体験したいから	51.1%
2 実社会で働く事を実感するため	16.3%
3 企業・業界研究	11.6%
4 自分に合った仕事や企業を知るため	9.3%
5 スキル向上のため	7.0%
6 就職に有利になるため	4.7%

- ▶ 就職を目指す業界・企業への参加。
- ▶ 自分の適性・スキル等を活かせる業界への参加。
- ▶ 仕事内容を知ること、働くイメージを具体化するため。
- ▶ 実習期間が適切だったため。

■ アンケート結果【学生編】

②実習先企業を選択した理由

1 就職を希望する業界	37.5%
2 企業概要書・計画書の内容	25.0%
3 就職を希望する企業	15.6%
4 その他	21.9%

- ▶ 自身の資格やスキルを活かせる企業。
- ▶ 地域に貢献できる企業。
- ▶ 大学での学びと関連がある企業。
- ▶ 概要書・計画書の内容に魅力を感じた。
- ▶ 事務から営業まで幅広い業務を体験することができるカリキュラムになっていた。

■ アンケート結果【学生編】

③実習で得たもの

1	会社や社会・業界への見識や知識が増えた	38.3%	▶ 仕事のやりがいを知った。
2	他大学の学生と交流を持つ事が出来た	21.3%	▶ 漠然としたイメージが具体化した。
3	今後の就職活動に対する意識が沸いた	12.8%	▶ 社会人の考え方を学んだ。
4	自分の適性や興味が分かった	12.8%	▶ 業務の知見を深めるだけでなく、 職業選択の幅が広がった。
5	就職活動の職業選択の幅が広がった	8.5%	▶ 社員の方との交流を通じて、社会 へ出ることへの不安が和らいだ。
6	社会に出る自信がついた	4.3%	

■ アンケート結果【学生編】

④ 企業のイメージ変化

1	イメージが良くなった	74.1%
2	変わらない	18.5%
3	イメージが悪くなった	7.4%

- ▶ 参加した学生の大半が「良くなった」と回答。
- ▶ 良くなった理由として、
 - ・業界、企業の実態を把握できた。
 - ・仕事に対するやりがいを感じた。
 - ・地域貢献活動。
 - ・社内教育の充実。

⑤ 進路選択への影響

1	変化した	44.4%
2	変化しない	37.0%
3	わからない	18.5%

- ▶ 「変化した」と回答した学生の意見
 - ・仕事に対する責任感とやりがいを感じた。
 - ・印象が良くなり、進路選択の幅が広がった。
- ▶ 「変化しない」と回答した学生の意見
 - ・もともと志望していた業界だった。
- ▶ 「わからない」と回答した学生の意見
 - ・さまざまな業界に目を向けていきたい。
 - ・何がしたいか定まっていない。